

# クリエイティブ京都

Management & Technology for Creative Kyoto

# M&T

## CONTENTS

- P1・2 会員交流会2007
- P3~5 2007全国異業種交流・新連携フォーラム in 京都ご案内
- P6 けいはんなインキュベーション入居企業紹介
- P7・8 山城地域元気な企業づくりセミナー
- P9 起業家フォーラム・起業家セミナーご案内
- P10 京都ビジネスパートナー交流会2008
- P11・12 設備貸与制度
- P13 新素材・加工技術セミナー
- P14 研究報告から
- P15 北部産業技術支援センター・綾部主要機器
- P16 京都実装技術・信頼性研究会
- P17 技術トレンド情報
- P18 京都の経済
- P19・20 経済指標
- P21 受発注コーナー
- P22 取引適正化無料相談
- P23 行事予定表

# 京都産業21・会員交流会2007

当財団では、より多くの会員の皆様に事業をご利用いただけるよう、情報収集や異業種交流、企業間連携などネットワーク構築の場の充実に努めています。その一環として、2007年7月27日(金)京都府産業支援センターにおいて、KIIC(京都産業創造交流クラブ)会員並びに賛助会員の皆様全員を対象とした会員交流会が、今年度はじめて開催されました。畑 正高理事から開会の挨拶の後、アドック神戸事務局長の栄 敏充氏のご講演、次いで京都機械金属中小企業青年連絡会 代表幹事の辻 智之氏の事例発表がありました。その後、京都リサーチパーク内のレストランにて交流会が行われました。

## 講演

### 「連携による企業の成長」

～アドック神戸11年間の歩み～



アドック神戸事務局長  
栄 敏充 氏

#### プロフィール

1986年 2月 兵庫県中小企業家同友会(当時140社)事務局長に就任。  
1996年 3月 「製造部会」(アドック神戸の前身)事務局長に就任。  
1999年12月 共同受注・開発グループ「アドック神戸」事務局長に就任。  
2001年 3月 自然エネルギー推進グループ「ワット神戸」事務局長に就任。  
10月 共同受注・開発グループ「アドックはりま」事務局長に就任。  
2002年 3月 兵庫県中小企業家同友会(当時1,080社)事務局長を退任。  
4月 兵庫県中小企業家同友会嘱託に就任。  
2003年 6月 IT協業ネットワーク「チームITプロ」事務局長に就任。  
2004年 5月 「NPO法人ワット神戸」事務局長に就任。  
その他、「小規模ESCO研究会」「兵庫県中小企業家同友会産業クラスター企画会議」の事務局を兼任。

#### ●はじめに

私が事務局長を務めるアドック神戸は、経済構造の転換への対応に立ち遅れつつある兵庫県の製造業界において、各社の技術力・開発力・ノウハウを融合し、新たなビジネスチャンスを創り出すための受け皿になることを目的として設立されました。

最初の5年間は失敗の連続で、6年目くらいからやっと芽が出始めました。連携グループにとって「続ける」ということはつくづく大切なことだと思います。

また私は現在、アドック神戸以外に3つの連携グループの事務局長を務めています。連携グループの業種は様々ですが、すべて同じような歩みをたどっています。成功より失敗から学ぶことの方が大きいので、本日は私どもが経験した失敗を中心に話したいと思います。

#### ●中小企業の連携は難しい(10年間の実感)

##### (1)連携グループの「生成→発展→衰退」

連携グループを発足してから1年間の「幼年期」は、夢と希望にあふれてグループ活動に取り組めます。ですから、成果が上がらなくても希望があるので我慢できます。

しかし、発足から2～3年頃の「少年期」では、想定外の困難・失敗にぶつかり戸惑い始めます。アドック神戸に限らず、私が関わったグループすべてがこの時期に困難や失敗にぶつかっています。加えて、成果が見えず熱の冷めるメンバーや距離をとるメンバーが出てきます。この頃になるとメンバーが懐疑的になり、お互いの腹の探り合いが始まります。

私たちは最初の3年間、勉強会と飲み会の繰り返しでした。おかげで参加企業は本音をさらけ出すことができ、発足から4～6年頃の「思春期」を迎えると、お互いの腹の底まで見出して仲間の器がわかってきました。そして、小さな実績ががさかに見え出し、希望が芽生え始めたのです。

発足7～10年の「青春期」では、連携の真の効果が見え始め、自社の成長を体感します。一方、グループへの参加の質・量の差が長年の間に蓄積し、メンバー間の格差が顕在化し始めます。中心となって活動を行ったメンバーとそうでないメンバーの差は取り返しのつかない程になってしまいます。中心であったメンバーは本当に大きな成長を遂げました。

そして11年目となった現在。この11年間で企業は大きく成長し、会員間の経済交流も拡大深化しましたが、共同受注・開発の当初目標には程遠く、まだ成功といえる段階にはありません。

##### (2)真に成功したといえるグループ(典型例)がない

新たな連携グループは次々と生まれますが、全国を探しても真似できる成功事例がなく、また失敗したグループはすでに解散しているため、失敗の原因を学ぶ機会もありません。現在、モデルになる事例がないことが問題です。

##### (3)ノウハウが散逸してしまっている

多くのグループが失敗し損失を出した段階で解散するか、活動を休止するので、「こうしたら失敗する」というノウハウがどこにも蓄積されないまま散逸しています。そのため、新しいグループは連携のノウハウを持たないまま活動に入り失敗します。

##### (4)落とし穴…「理念なき連携」に未来はない

多くのグループが「理念の一致」の重要性に気づかないため、理念なき連携の危うさに気づいた時にはすでに遅く、分裂か休止してしまいます。理念の一致の重要性に気づくのは完成や販売直前になってから。それでは遅いのです。

#### ●「シンポジウム」で10年間の失敗・成功の体験をオープンに

##### (1)共同受注と共同開発の事例

アドック神戸の第1号共同受注案件は、アメリカのドラッグストア向けの薬剤自動分包機でした。納入までに5年かかりましたが、450台を出荷することができました。この案件は成功しましたが、成功したからといって儲かったわけではありません。

残留異物測定器は5年間売れず、6年目にしてやっと数台売れ、7年目にして売れ出しました。

共同開発というのは、9割まではすぐできます。しかし、最後の1割がなかなか上手くいかないのです。さらにその1割をクリアして開発できても、販売するまでにもっと時間がかかります。だいたい開発の9割に2年、残り1割に2年、それから4年くらい経たなければ販売までたどりつけません。

##### (2)失敗談を通じてノウハウを蓄積(連携の効果①)

第1号案件の時、「この指止まれ」方式でやりたい企業が集まり、失敗しました。「やりたい」という思いだけで開発はできません。その経験から、主幹事会社方式を生み出しました。主幹事会社方式とは、幹事会社が全責任を負うということ。この方式により、「やりたい企業」でなく「できる企業」を集めて研究開発を行うようになりました。他にも、新製品開発での失敗からは新製品開発プロセスやマーケティングを学びましたし、契約書のない共同開発で失敗した経験からは、共同開発契約書や特許契約書等を作成するようになりました。

##### (3)連携で儲かるのは、「金儲け」でないことがわかった(連携の効果②)

連携グループの共同開発というのは、「金儲け」は期待できません。しかし、他に大きなメリットがあると思います。まず、アドック神戸の信用でいただいた仕事は、次回から直で取引するシステムとなっていますので、新規開拓と新市場に進出することができます。

また共同受注を行うことで、これまでに経験したことのない加工・組立てに直面することもあり、企業の技術の質的レベルアップにつながります。さらに共同開発による新技術と開発プロセスの体験を通じて人脈ができ、自社製品の開発へとつながることもあります。

##### (4)会員間の経済交流が深化(連携の効果③)

アドック神戸会員企業29社を対象に、平成17～18年度の会員間の経済交流を調査したところ、会員間の取引額は2年間で6億円強でした。結成後は新規の受注関係が多数生まれ、非常に密なネットワーク(取引関係)が形成されました。

##### (5)新鮮な情報と産学官金融ネットワークの活用(連携の効果④)

毎月の運営委員会の出席者の半分は、神戸市や兵庫県立工業技術センター、神戸大学等の大学、商工中金等の外部の方々です。ですので、製造業界だけでは得られない新鮮な情報が得られますし、新たなネットワークも生まれます。

##### (6)下請け企業から自立型企業へ、自社が変わった(連携の効果⑤)

下請け企業には組立て能力などの技術力はありますが、開発力がありません。ですから、自立型企業になるのは非常に難しいことです。しかし、いつまでも下請け企業だと親企業の都合に完全に左右されてしまいます。一つの例をご紹介します。

これは先述したアメリカの薬剤自動分包機を開発した企業の例ですが、かつては親企業の発注が90パーセントの下請けとして超優良な企業でした。ある日、親企業の都合により受注が15パーセントにまで減少し、年間14億円あった売上が一時6億円にまで落ち込みました。それを機にこの企業は自立型企業を目指すようになり、おかげで現在では12億円となりました。このV字型回復をきっかけに今では海外展開にも取り組む勢いです。14億と12億。売上は似ていますが利益率は、下請けと自立型とでは大きな差があります。

ある企業は地元大企業の下請けから、地元外大企業との横受け(共同特許)をするようになりました。さらに自社の技術をWeb発信することにより、ユーザーが地域から全国へと広がりました。今までこの企業は、自社の技術は誰にでもできる技術だと思っていたそうです。しかし、その技術をWeb上で公開してみたら、びっくりなしに受注が入ってきました。その時に初めて自社の技術が全国的に見ても他にない技術であることがわかったそうです。

アドック神戸も始めた時は、7割ほど下請けの仕事をしていました。しかし今は下請け仕事は1割ほどで、現在はメーカーとして仕事をしています。余談になりますが、アドック神戸はメーカーになって下請けの仕事をやらずともはありませぬ。それは100パーセントメーカーとして仕事をすると陳腐化するおそれがあるからです。下請けだと無理難題をいわれることもあります。それによって技術力が身につくこともあるのです。

### (7)アドック神戸の共同受注の仕組み(連携の効果⑥)

アドック神戸の共同受注の仕組みは2パターンあります。アドック神戸を通じて受注するA型と、会員企業が自主的にグループを組むB型があります。アドック神戸は、アドック神戸自体の売上を目指しません。会員企業それぞれの売上を目指し、それぞれが伸びていくことを目指します。ですから、アドック神戸を介さないB型の受注が増えるように推進しています。

## ●今後の課題

アドック神戸のこれからの課題は、新規メンバーの獲得です。グループ連携が11年目を迎え、途中から入ることに躊躇する方が多く、現在メンバーが固定化してきています。これからこの問題をどうするか、いろいろなところで知恵をお借りして解決していきたいと思っています。

また、アドック神戸の兄弟組織にワット神戸があります。ワット神戸は環境関連のプロジェクトを行い、①太陽光発電の共同受注、②風の妖精サンシルフィーワット、③色素増感型太陽電池工作キットの開発を進行していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

## 事例発表

### 「キセイレンの活動」



京都機械金属中小企業  
青年連絡会 代表幹事  
辻 智之 氏

### ■『KISEIREN』(本物の仲間たち) 25年のあゆみ ～合言葉は

「育とう・育てよう・育ち合おう」～

「機青連(キセイレン)」こと京都機械金属中小企業青年連絡会は、1982(昭和57年)に(財)京都産業21の前身である京都府中小企業振興公社(以下、財団)の呼びかけにより産声をあげました。

以来、当時、横の繋がりがなかったこの業界で、会員相互の連絡と協調のもと、自らを鍛え、京都機械金属業界の原動力となることを目的に、一步一步、歩みを続け今年の5月には満25歳の誕生日を迎えることが出来ました。その間、呼びかけ役だった財団が事務局を離れるなど会のピンチもありましたが、そのことが自ら事務局を運営する機会となり、本物の仲間をつくる連携グループとして自立していくことになったのです。

25年の活動のなか、「育とう・育てよう・育ち合おう」のスローガンのもとに大きな志を胸に抱き、後輩に「気付き」を与え、湧き上がる情熱でキセイレンを創り続けて来た先輩の創設当時の精神を継承し、本音で語り合い、元気で逞しく勇気を持って踏み出す挑戦と努力の日々の継続が四半世紀という節目を迎える今日に繋がったのだと思います。

## ■『キカイ』をつくるのは人間やで!

私たちキセイレンの形態形成理念であるこの「キカイ」という言葉は「機械」だけでなく「機会」を意味しています。自分自身を成長させる為の「気づき」と多くの先輩や仲間達と出会える機会を得ることがキセイレン継続の原動力のひとつです。

キセイレンは現在69社のメンバーで構成されていますが、次期経営者という若い時期にこの会の運営に携わることは企業経営や自己形成に大変役立っています。会の特徴とも言えますが、キセイレンの会員は45歳で壮年会員(定年)となり議決権がなくなります。会が陳腐化しないよう新陳代謝を進めるために、どんどん若手が活躍できる場作りができるしくみになっています。

毎月のように行われる「例会」や「会社訪問」や「交流事業」「部会」などの事業の企画・立案・運営はすべて30～40歳の若い幹事が「幹事会」を構成し、維持・改善・調整を果たして行きます。そういった多くの機会が経営のシミュレーションとなり、それを通じて自分自身が成長を遂げていくのです。

先にあげました「会社訪問」という事業は、キセイレン活動でも大切にしている事業のひとつです。ご紹介すると、皆の仕事が終わってから、夜、会員企業の現場に向かい財務係数の分析や3S活動の状況など本音でアドバイスしあう活動があります。アドバイスという「やさしい」ニュアンスですが、それはキセイレンの洗礼とも言えるべきもので、工場や会社にはじめてきた先輩や仲間は「汚い工場やなー!」「設備入れたん?償却できるんか?」「今、月の売上はなんぼ?利益は?」「そんなんでもよう経営やっとなー。」「従業員がかわいそうや!」等と訪問された会員企業は「もう堪忍してくれ」と言いそうになるような「アドバイス」を受けるのです。会社訪問をされた会員の弁を借りますと、「当初は悔しくて腹も立ちましたし、落ち込むような事もありましたが、そんな厳しくも愛情のある言葉のなかから、経営者として、今の自分の立ち位置とかがわかる。そして、そこから、これではいけないだとか、自分の不明に気づき、努力をすることが出来たのだと思います。」と…。

## ■「温故創新～創新し続ける本物の仲間たち～」

この機会を大切に26周年を迎える本年度は「温故創新～創新し続ける本物の仲間たち～」をテーマに掲げ、先輩達の情熱や気概、想いを知り、振り返り、継承しながら仲間として強い絆を築き、支えあって次のステージを創り出し、更なる機会を継続して生み出して行くため、様々な連携をし事業を進めて参ります。

これまで、活動を続けて来られたのも、諸官庁・業界団体・顧問の皆様方をはじめとした関係各位の温かなご指導やご支援のお陰と深く感謝いたします。そして、先輩達の熱く溢れる想いを繋ぎ続け、自らを鍛え、本物の仲間とともに成長しつづけてきた会員の皆さんの努力があったからだと思っています。

我々はこれからも挑戦する勇気を持って新しい一歩を踏み出し、自らを創新し、新たな「キカイ」を京都から発信し続けられることを願ひ、京都の若き経営者の気づきと育ちの場としてこれからも企業連携を重ねていきたいと思っています。

### ●近年の主な事業紹介

「夢・ビジョンシンポジウム」「高校生インターンシップ事業」  
「ものづくり元気サミット」「京都青年団体会議 主幹」  
「経済産業省 製造現場中核人材育成事業 参画」  
「京都教育功労賞 受賞」「京都かがやき交流賞 受賞」

### ●仲間が創り出したユニット

「京都マネジメント研究会」「京都試作ネット」  
「京都テクノロジーユニット」「アルフォース京都」

## 交流会

(財)京都産業21の中村専務理事より「話を聞くだけではなく、自ら情報発信できるような交流会を!」と活発な交流を促す挨拶の後、長年KIC会員として精力的に活動されている(株)アドック代表取締役の山本拓宏氏から乾杯のご発声がありました。初めての交流会でしたが、参加者からは積極的に取り組み状況の発表もあり、会員同士の交流と情報交換で大いに盛り上がりました。



# 未来が目覚める。

新たな価値を創造する最先端の知と技が京都に集結



## 2007全国異業種交流・新連携フォーラム in



## 開催のご案内

異業種交流全国大会が京都で開かれます。

全国から異業種交流や新連携・産学連携に関心の深い企業、大学、団体等が一堂に会し、テーブル交流会、基調講演、パネルディスカッション、情報交流会などを行います。

交流・連携の推進に絶好の機会です。皆様のご来場をお待ちしております。

<b>日時</b>	平成19年10月19日(金) 10:00 ~ 20:00	<b>入場無料!</b>
<b>会場</b>	国立京都国際会館イベントホール 京都市左京区宝ヶ池(地下鉄「国際会館」下車)	
<b>主催</b>	2007全国異業種交流・新連携フェアin京都実行委員会 (独)中小企業基盤整備機構近畿支部、京都府異業種交流会連絡会議、(財)京都産業21	
<b>共催</b>	全国異業種交流協議会近畿ブロック連合会、京都府、(財)中小企業異業種交流財団	
<b>後援</b>	近畿経済産業局、京都市、京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、(社)京都工業会、京都府中小企業団体中央会、(財)大学コンソーシアム京都、京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都北部信用金庫、滋賀銀行、南都銀行、京都新聞社、日本経済新聞社、朝日新聞社、読売新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイビジネスアイ、 <b>NHK京都放送局</b> 、KBS京都、エフエム京都 (順不同)	

### イベント概要

■オープニングセレモニー(10:00 ~ 10:30)

■テーブル交流会(10:30 ~ 17:30)

企業、団体、異業種グループ、大学、支援機関等がイベントホールに一堂に展示し、情報発信と交流を行います。

企業・グループ・大学・金融機関・支援団体等 約150小間が出展!!

■産学交流サロン(10:30 ~ 17:00) 詳細は5ページをご覧ください。

■新連携相談サロン(10:30 ~ 17:00)

テーブル交流会出展企業とのマッチングや“新連携”に関する様々なご相談をお受けし、課題解決のお手伝いをする場を設けています。



可能性に挑み、未来に貢献します。

*Partners in progress*

**Advanced Thin Film Technology**  
Sharpening the Cutting Edge™

1979年の設立以来、当社は成膜やエッチング、表面処理に対するお客様のご要望にお応えし、次世代プロセス機器を提供してまいりました。私どもの製品は、国内外の企業や研究機関で幅広く使用されており、その品質や迅速なサービスには高い評価を頂いております。私どもは、薄膜技術のパイオニアとしてオプトエレクトロニクスやMEMS、実装などの分野において信頼性の高い製品と創造的なプロセスソリューションを提供してまいりたいと考えております。

半導体製造装置：CVD装置・ドライエッチング装置・ドライ洗浄装置

**サムコ 株式会社**

<http://www.samco.co.jp>

本社 京都市伏見区竹田薬屋町36 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
営業所 東京・東海・つくば・仙台・広島・台湾・上海・シンガポール・カリフォルニア

■基調講演<10:30～12:00>

異業種交流・連携の取り組みと展望について、気鋭の経営者が熱く語ります。

テーマ  
講師

**コラボレーション経営～縦の異業種交流～**  
株式会社トーセ 代表取締役社長兼CEO 齋藤 茂 氏  
<http://www.tose.co.jp/jp/index.htm>



■パネルディスカッション(研究開発交流会)

全国の第一線で活躍のメンバーが、「広域交流」「産学連携」「新連携」をテーマにパネルディスカッションを実施します。

○広域交流<13:00～14:30>

テーマ “異業種交流から生まれる気づき”

コーディネーター 坂本 光司 氏  
静岡文化芸術大学文化政策学部教授



パネラー 山本 昌作 氏(山本精工株式会社 代表取締役副社長)〔京都府〕  
沢根 孝佳 氏(沢根スプリング株式会社 代表取締役社長)〔静岡県〕  
吉野 喜美子 氏(大阪市女性起業家情報交流協会 会長)〔大阪府〕

○産学連携<14:30～16:00>

テーマ “地域と人を育てる産学連携”

コーディネーター 澤田 芳郎 氏  
京都大学 産官学連携センター教授



パネラー 荒磯 恒久 氏(北海道大学 創成科学共同研究機構リエゾン部教授)〔北海道〕  
橋本 正敏 氏(橋本電子工業株式会社 代表取締役社長)〔三重県〕  
杉村 均 氏((独)中小企業基盤整備機構 BIコーディネーター)  
福崎 文伸 氏(近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課長)

○新連携<16:00～17:30>

テーマ 交流・連携から生まれる“新連携”

コーディネーター 大槻 眞一 氏  
阪南大学学長



パネラー 棕本 満 氏(株式会社コンフォート・ラボ 代表取締役社長)〔大阪府〕  
尾鍋 哲也 氏(株式会社尾鍋組 代表取締役社長)〔三重県〕  
森本 拓治 氏(近畿経済産業局 産業部中小企業課 新連携振興室長)

■情報交流懇親会(有料:7,000円/人)

<18:00～20:00>

参加者による情報交流会を開催します。“京都らしさ”を演出した「庭園パーティー」により、交流を深めていただきます。

■オプションツアー(有料)

開催日の前後には、京都を満喫していただけるようオプションツアーを催します。(詳しくはホームページをご覧ください。)

●10月18日(木)

Aコース:企業視察・醍醐寺での能「敦盛」鑑賞と夕食

Bコース:企業視察と夕食

●10月20日(土)

Cコース:裏千家・茶道資料館と伏見酒蔵見学

Dコース:源氏物語千年紀

Eコース:ゴルフ

■宿泊のご利用

ホテルの宿泊予約を承ります。

(詳しくはホームページをご覧ください。)

<http://www.joho-kyoto.or.jp/~igyoushu/2007zenkoku/>

【お問い合わせ先】

京都府異業種交流会連絡会議 事務局  
(財) 京都産業 21 連携推進部 企業連携グループ

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720  
E-mail: renkei@ki21.jp  
<http://www.joho-kyoto.or.jp/~igyoushu/2007zenkoku/>



地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから

モバイルコンテンツまで

多彩なデジタルエンターテインメントを

創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091京都市下京区東洞院通四条下ル  
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営  
グループ会社…株式会社フォネックス・コミュニケーションズ/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司  
/Tose Software USA, Inc. /株式会社トーセ沖縄

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

<証券コード4728、東証・大証一部上場>

# 「2007全国異業種交流・新連携フォーラムin京都」 産学連携の相談コーナー「産学交流サロン」へお越し下さい。

産学連携が新製品開発や企業発展の一つの方策であることは言うまでもなく、今後ますますあらゆる分野との産学連携が推進されていく状況です。しかし一方では、産学双方にとって、きっかけとなる出会いや交流の場が少ないのも現状です。

今回の「2007全国異業種交流・新連携フォーラムin京都」において、産学連携の相談コーナー「産学交流サロン」を設置するとともに、近畿圏内にある大学等19校が集結し、各大学の産学連携の成果や、大学シーズを展示し、具体的な産学連携の相談会を開催します。

中小企業の産学連携としては、近畿経済産業局が平成19年2月に実施した「産学連携の裾野拡大における外部機関の活用」アンケート調査によると、「中小企業との連携に対する大学の意識」として、中小企業との産学連携は相手先として重視しているが32%もあり、また、地域貢献の観点から重視しているが43%、したがって75%の大学は中小企業との産学連携を望んでいることとなります。

また、「中小企業との産学連携に取り組みやすい点」については、意思決定が早い、小回りが効き事業化が期待しやすいなど、大企業にならぬスピード感が重視されると、企業側の技術者に熱意があるなど中小企業ならではの理由があげられています。

産学連携に興味・関心があるが、産学連携の進め方や費用が分からない企業、技術開発に困っている企業、大学のシーズを知りたい企業、産学連携を行い新技術開発を行いたい企業など、ぜひこの機会にお越し下さい。



## 「2007全国異業種交流・新連携フォーラムin京都 産学交流サロン」

平成19年10月19日(金) 10:30 ~ 17:00

国立京都国際会館 イベントホール内に「産学交流サロン」を設置します。

★事前登録をして頂ければ、大学と情報マッチングを行い、当日よりスムーズに相談をしていただきますので、参加申込に相談項目を記入いただきますようお願いいたします。

### 〈参加予定大学(団体):順不同〉

京都大学 京都学園大学 京都工芸繊維大学 京都産業大学 京都職業能力開発短期大学校 京都精華大学 京都造形芸術大学  
京都府立大学植物バイオテック研究グループ 同志社大学 同志社女子大学 平安女学院大学 龍谷大学エクステンションセンター  
(財)大学コンソーシアム京都 滋賀大学 大阪産業大学 大阪電気通信大学 関西大学社会連携本部 奈良女子大学  
奈良先端科学技術大学院大学

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21連携推進部  
産学公・ベンチャー支援グループ

TEL:075-315-9425 FAX:075-314-4720  
E-mail: sangaku@ki21.jp



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ [www.pasona-kyoto.co.jp/](http://www.pasona-kyoto.co.jp/)

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447  
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階  
滋賀支店 TEL.077-565-7737  
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津

# 「高速・機密・大容量通信の革新を目指す大学発ベンチャー」



株式会社クリアリンクテクノロジー  
代表取締役社長 水原 隆道 氏

所在地 ● 京都府相楽郡精華町光台1-7けいはんなプラザ・ラボ棟  
TEL ● 0774-98-3873 FAX ● 0774-95-5190  
URL ● <http://clearlink.jp/>  
業 種 ● 暗号化及び高速データ通信システムの研究開発、  
情報セキュリティコンサルティング、インター  
ネットシステム構築/ソフトウェア開発

## ◆ 圧縮・暗号化技術による高速・大容量インターネットサービス「デジ急便」を開発

当社が提供している「デジ急便」(登録商標済)は、インターネットを活用して最大450Mbpsのデータ転送が可能なサーバー活用型のデータ転送ソリューションです。クライアントのパソコンには、ウェブブラウザ以外の特別なソフトのインストールは不要で、送受信パソコン間において完全な高強度暗号化(256ビットAES暗号)を実現しています。



電子メールのような簡単・手軽な操作で、高速通信・大容量・安全通信を実行できます。

今日の情報化・グローバル化社会では、全国各地の営業拠点間、更には海外の工場等との間での情報交換のスピード化がビジネス発展のための一つのキーワードになっています。

「デジ急便」はそのようなニーズに最適で、2006年4月の発売以来大手企業を中心に導入され、その効果を実感いただいています。現在ASPサービスも開始していますが、初期投資が不要であり、ディスク容量・ユーザー数の追加可能で、中小企業の方々に便利なものとなっています。

## ◆ 起業の動機について

奈良先端科学技術大学院大学で先端の通信・セキュリティ技術を学んでいる中で、その実用化に興味を持ちました。この分野の応用技術は欧米の技術が主流で、日本発の独自技術は余り多くありません。小さい時から電気・電子技術などものづくり技術に関心があり、大学院で研究した通信・セキュリティ技術とそれを融合することにより、新たな通信・セキュリティ技術の開発が可能と考え、2005年10月に会社を設立し、学生ベンチャーとして出発しました。

起業と同時に京都府けいはんなベンチャーセンターに入居し、けいはんな新産業創出・交流センターでビジネスマーケティング等の支援を受け、顧客開拓等の成果をあげることができました。

## ◆ 新製品「NetAcceler FastGate / FileTrans」の販売等今後の会社の展開について

今年5月に、国内や海外の長距離・高遅延インターネットの通信スループットの大幅な改善をソフトウェアのみで実現したWANゲートウェイシステムである「NetAcceler FastGate」、長距離の高速データバックアップシステム「NetAcceler FileTrans」の販売を開始しました。本支店間や海外拠点間のデータバックアップや映像伝送をインターネット利用による低コスト高速通信網で実現可能な通信アクセラレータです。高強度の暗号通信に対応するためVPN装置などは不要で、通信経路の暗号化も可能です。

今後とも、安心できる“コミュニケーション”文化の創造、安全な“コミュニケーション”世界の追求、効率化による“コミュニケーション”時間・資源の節約による「次世代コミュニケーション環境」の創造を目指し、独自技術の開発を追求していきたくと思っています。

経営的には、自社製品の提供に加え企業のオリジナルなニーズに対応する基盤ソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの受託開発、オフショア開発のためのソフトウェア設計も行っています。今後とも自社製品50%、受託開発等50%で取組んでいきたいと考えています。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 けいはんな支所

TEL:0774-95-5028 FAX:0774-98-2202  
E-mail: keihanna@ki21.jp

## 未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。  
私たちの仕事は電子部品というタネを、  
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。  
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。  
携帯電話、カーナビ、パソコン…。  
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、  
もう今は実現されているでしょう？  
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。  
小さな部品で、エレクトロニクスの世界に  
たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。  
ムラタの部品が

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先：広報部 phone:075-955-6786 <http://www.murata.co.jp/>

Innovator in Electronics  
**muRata**  
村田製作所

# ～どう採用する?どう育てる?中小企業の雇用と人材育成を考える～

2007年8月3日(金)久御山町商工会館にて、『シリーズ第7回・山城地域元気な企業づくりセミナー』が開催されました。

第7回は、少子化の影響による若年層の減少傾向を背景に、団塊の世代と言われる人たちの大量退職が重なる中で、中小企業がいかに人材を確保して育成し、企業を発展させていくかを提案する目的で行われました。

セミナーは京都府山城広域振興局農林商工部長 八木一樹氏の挨拶の後、基調講演として(社)中小企業診断協会 京都支部長 山崎忠夫氏にご講演いただきました。続いて、京都府府民労働部総合就業支援室参事 大谷 学氏から今年4月に開所した総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」についての概要説明と京都府山城広域振興局商工観光室副室長 新見覚紀氏から今後の活動に関するお知らせがありました。

## 基調講演

### 「人材採用～育成～戦力化～定着の「ツボ」教えます」



社団法人中小企業診断協会  
京都支部長  
(株式会社ザ・ブレン  
代表取締役)

山崎 忠夫 氏

#### 主な職歴

(株)関西電力を経て、'74年より京都医労連勤務、  
'86年より京都府料理飲食業福祉厚生事業協会  
勤務、事務局長。  
'87年「山崎経営労務管理研究所」設立、所長。  
'92年 有限会社「ザ・ブレン」設立、社長となる。  
'02年 株式会社へ移行、引き続き代表取締役社長

#### 主な公職・役職

(社)中小企業診断協会京都支部支部長  
(財)京都産業21専門家相談員  
京都商工会議所中小企業経営相談センターアド  
バイザー  
大津商工会議所エキスパート

#### ●はじめに

本日は中小企業が抱える人材問題についてお話いたします。

中小企業は大企業に比べて資金・技術・人材といった面でも差があります。特に人材面は大きな開きがあります。また、本日付の新聞には「3年以内に転職してしまう新入社員が増加」という記事がありました。

こういった状況を見ても、中小企業にとって人材問題というのは非常に大きな問題と なっています。

#### ●中小企業の人材問題—3つの空洞化—

中小企業の人材は、世代によってそれぞれ違う問題を抱えています。

まずは、若年層。「会うは別れの始め」という言葉がありますが、若年層は入社してもすぐ 辞めてしまうケースが多くあります。

次に中堅層。中小企業には、なぜか中堅層と呼ばれる世代がありません。というの も、この世代が若かった頃は景気が良く、転職しやすい時代でしたので、大企業に転職して しまうケースが多くありました。ですから、大企業には中堅層が多いのです。

最後は高齢層。若年層も中堅層も無理ならベテランに頼るしかありません。しかし、高齢 層には定年という問題があります。

#### ●団塊の世代が去っていく

2007年から、高度成長を支えた「団塊の世代」が一齐に定年を迎えます。団塊の世代 とは、1947年(昭和22年)から1949年(昭和24年)の3年間に生まれた世代のこと。厚生労働省の統計では約800万人(出生数)いるとされ、この人たちがいっぺんにいなくなり ます。

#### ●フリーターの動向

現在、高齢化が進み若者の数が減少していますが、そんな状況にも関わらず、就業機会 を得ないまま30代に突入する人が結構います。そういう人々を「値打ちがない」と偏見 の目で見ることがありますが、本当に彼らは「値打ちがない」のでしょうか。私は必ずしもそう ではないと思います。30代というのは、就職氷河期のため勤めることが難しい時代でした。社員になれるチャンスに恵まれないまま30歳になってしまった、という場合もあります。

全体的には、フリーターの数は減ってきています。けれども、まだまだ多く仕事に就かない人 たちがいます。

#### ●これまでの採用戦略・方法でこれからの「人材難」時代に耐えていけるか?

現在、景気回復により大企業の採用に動きがあり、求人倍率や完全失業率が改善されつ つあります。これからますます条件の良い企業に人材が集中していくことでしょう。そのため、条件の悪い企業は何回募集をかけても集まらず、集まったとしてもすぐ辞めてしまうとい う問題があります。

この問題を解決するには、これまでの考え方を根本的に見直さなければなりません。

#### ●優秀な人材を採用するための「ツボ」

##### ①自分の会社の「魅力」のおしだし

大企業と中小企業の採用戦略とは、この自社の「魅力」のおしだしに差があります。中小企業は自分の会社の「魅力」のおしだしができていません。現状で他企業に負けない強みを持ってほしいのですが、もし持っていない場合、「今はこうだけれども、こういう部分でこう伸びようと思っている」ということをアピールしてください。要は将来どういう方向で伸びていきたいかという企業戦略を持ってほしいのです。意外にこの企業戦略を持っている企業は少なく、10社に1社という割合です。これでは前途有望な若者が魅力に感じません。

##### ②面接されているのは「あなた」!

面接の時、こちらが相手を面接していると思っていないませんか?そうではなく「あなた」が面接されていることを自覚してください。実は相手が会社を選んでいるのです。

##### ③「何のために」「どのような人材」を求めているのかを明確に

採用にあたって、今どんな人材が必要で、そしてなぜその人材が必要なのかをしっかりと把握することが大切です。

##### ④その道が「好き」な人材を採用する

いろいろ考えた結果、これが一番だと思います。好きな人は必ず残りますから、そういう人を採用することができれば、定着してくれます。合う職業、職場で働くのが一番です。

#### ●優秀な社員の定着への「5つの決め手」

##### ①トップ自らの魅力

大企業と違い経営者と社員が毎日顔を合わせる中小企業では、トップの存在が重要で す。ぼやいてばかりいる社長、戦略一つ出さない社長では社員はついてきません。目標の実現に向かって率先して先頭に立つようなトップに社員は魅力を感じていくのです。

##### ②会社の魅力

この会社に居たい!と思える「何か」を打ち出す必要があります。それは一つでも構いません。

##### ③私の将来どうなるの?と思わせない

優秀な人材が希望を持って人事政策をしましょう。きちんと評価をしてあげることで、刺激とやる気を持たすことができます。

##### ④鉄は熱いうちに打て!背中を見せてもダメ!

今の若い人には「背中を見て仕事を覚える」と言っても無理です。ですから、計画的に教育していく必要があります。

##### ⑤「安定」と「やりがい」、これがキーワード

いつクビになるか、いつ会社が倒産するか分からない時代であるため、社員の要求が一昔前に比べて、安定を求める傾向にあります。加えて、受験戦争で受け身体質となっている若い人は「やる気を持たせてくれたら頑張る」という人が多いです。賃金と処遇を工夫し、「安定」と「やりがい」を社員に持たす仕組みをつくりましょう。

## ●「ニート」だって「フリーター」だって何だって育成しちゃえ!

### ①人材戦略に沿った仕事の与え方、育成の仕方を工夫

仕事に就いた経験や組織に馴染みのないニートやフリーターは、急にどこかに配属されてもなかなか対応できません。仕事の手順書を作成し、一つ一つ進めていけばいいのが説明してあげましょう。

### ②「実体験」を積ませる

ニートやフリーターは仕事に対して「不安」を抱えています。仕事の現場で実際に経験を積ませ、きちんとフォローをすることで「不安」を取り除いてあげましょう。

### ③「目標」を共有する

ニートやフリーターの多くの人たちは、自分だけでは目標を立てることができません。ですから、会社の取り組みとして彼らに明確な目標をもたせましょう。

### ④「ほめしか」実行!!

「ほめしか」とは褒めると叱ること。目標等に日々努力している姿を見たら褒めてあげましょう。日本人は褒めることが上手ではありませんから、上司も褒める癖をつけなければいけません。そして間違ったことをしたら、感情で怒るのではなく、冷静に叱るようにしましょう。

## ●団塊の世代にもう一肌脱いでもらう法

そうはいっても、若い人を採るのには限りがありますし難しいことです。そこで、もう一度団塊の世代やベテランと呼ばれる人に目を向けてみましょう。彼らは、まじめで尚且つパワーを持っていますから、年をとったからといって「さよなら」するのはもったいないです。

しかし、日本は役職尊重社会です。定年後に役職から離れると、これまでの上下関係が変わってしまい、本人も周りも仕事がつづらなくなります。ですから定年後の勤務は、何をしたらうかが役割を明確にし、多様な処遇を考えましょう。

## ●「阻害要因」を取り除く

中小企業によく見られるのが同族経営です。同族経営は時に無理を通すことがあります。必ず道理がへこみます。それでは優秀な社員は定着しません。権限を持つ人こそ謙虚でなくてはなりません。

絶対についていけない上司というのがあります。例えば、上から物を言う上司、決めつける上司、部下の意見はどこ吹く風という上司、上ばかり見て仕事するヒラメ上司、サラリーマン上司、朝令暮改な上司はついていきたくないですね。反対に、目標(夢)をきちんと持たせてくれ、部下を信じ、良い時には褒め、悪い時には叱ってくれる上司は、ついていきたいと思わせるでしょう。

## ●最後に

中小企業の良さは、小回りが利くことです。つまり、やると決めたら早い。これまでのやり方が悪ければ、さっさと変えてしまうことができます。人材採用～育成～戦力化～定着の「やり方」を変えてください!必ずできるはず!

## 事業説明

# 「京都ジョブパーク」について

京都府府民労働部総合就業支援室 参事 大谷 学 氏

今年4月、京都テルサ内に総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」がオープンしました。京都労働局・ハローワークと緊密に連携し、相談から就職、定着までワンストップサービスを提供しています。京都ジョブパークは公労使が核となり、京都の様々な団体が参画する地域で支える共同運営方式をとっており、また、企業から成る「企業応援団」も結成されています。

企業の皆様におかれましては、ぜひ積極的にご参画いただき京都ジョブパークを支えていただきますようお願い申し上げます。

### ■企業応援団の主な取組

- 「希望の京都」塾の開催  
京都企業の創業者やトップの方の講演
- 「ボランティア講師」への登録  
職業を選択するに当たっての考え方や「働くこととは」について考えを深めるための研修セミナーの開催
- 職場実習・職場見学の受入  
就業経験が乏しい若年者向けの職場実習・見学の実施
- 広報の協力  
企業のホームページなどでの京都ジョブパークの周知協力

### ■京都ジョブパークでの企業向けサービス

- 採用見込情報の提供
- ミニ企業説明会の開催
- 企業ブースの設置
- 企業まるごと体験ツアーの実施
- ワークフェア・就職面接会の開催
- 「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催
- 採用ホームページ作成研修の開催



企業応援団窓口 TEL: 075-693-5452

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 けいはんな支所

TEL: 0774-95-5028 FAX: 0774-98-2202  
E-mail: keihanna@ki21.jp

誰でもつき合える機械ほど、  
すごい技術が隠されている。  
ひとりひとりの人に、  
機械のほうから合わせてくれる。  
そんな、人と機械の関係。  
センシング & コントロール技術で、  
人と機械のベストマッチングを。



OMRON  
Sensing tomorrow™

# 起業家フォーラム2007&起業家セミナー開催のご案内

## ～夢の実現へ…起業をめざすあなた～

### 起業家フォーラム 2007

[http://www.ki21.jp/information/entre\\_forum/2007/index.htm](http://www.ki21.jp/information/entre_forum/2007/index.htm)

ビジネスプランをお持ちの方、起業を夢見ておられる方はふるってご参加ください。

**【日 時】** 平成19年9月29日(土) 13:30 ~ 16:00

**【会 場】** 京都リサーチパーク 1号館4階サイエンスホール

**【内 容】** ①基調講演 13:40 ~

「閃(ひらめ)きをビジネスに」

～天才発明家エジソンは、  
なぜ経営者になれなかったのか!?～

吉田 史朗 氏

(S&Gビジネスディレクション株式会社  
代表取締役社長)



②起業体験談 15:20 ~

「わたしの創業体験談」

畑中 豊司 氏

(株式会社データ変換研究所  
代表取締役)



**【定 員】** 100名(定員になり次第締め切らせていただきます)

**【参加料】 無料**

\*①住所②氏名③職業④電話番号⑤FAX番号⑥メールアドレスを明記の上FAX・E-mail・電話にて下記までお申込下さい。

### 起業家セミナー

[http://www.ki21.jp/information/entre\\_semi/2007/index.htm](http://www.ki21.jp/information/entre_semi/2007/index.htm)

各分野での起業をめざしている方、または創業間もない方を対象に、起業家セミナーを開催します。

ビジネス演習「バトルクレーン」により、企業経営における課題や問題点等を体験し、それらを解決するために必要なスキルや知識を学んでいただきます。さらにビジネスプランの作成方法、税務、財務や資金計画、マーケティングなど事業の立ち上げや経営に必要な基礎知識と実践力を身に付けていただきます。

受講修了者は、セミナー終了後に起業に関する専門家の個別指導を受けることができます。また、京都府中小企業融資制度「創業者育成融資」の融資対象者の一つの条件を満たします。

**【日 時】** 平成19年10月29日(土)～12月8日(土) 10:00～17:00(11月3日休講) 土曜日6回コース

**【会 場】** 京都府産業支援センター 5階研修室(京都市下京区中堂寺南町134)

**【定 員】** 30名(定員を超えた場合は書類選考により受講者を決定いたします)

**【参加料】 無料**

**【申込締切】** 平成19年10月12日(金)

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 連携推進部  
産学公・ベンチャー支援グループ

TEL:075-315-9425 FAX:075-314-4720  
E-mail:sangaku@ki21.jp

## ベンチャー企業支援室のご案内

### 業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 資金面の支援だけでなくとどまらず、公的機関・専門機関・大学等のネットワークである「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」等を通じ、経営相談をはじめベンチャー企業のあらゆるニーズにお応えします。



### 支援施策

- ・K.S.Oベンチャーファンド
- ・がんばれ中小企業・活き活き育成ファンド
- ・事業性融資
- ・「京銀活き活きベンチャー支援ネットワーク」の活用
- ・各種支援機関紹介
- ・ビジネスマッチング
- ・セミナーなどの開催

飾らない銀行



京都銀行

お問い合わせは

法人金融部

ベンチャー企業支援室

TEL.075(361)2293  
TEL.075(341)5984

# 「京都ビジネスパートナー交流会2008」出展者募集のご案内

## 出展申込締切日 2007年9月28日 **締切り迫る!!**

京都府と財団法人京都産業21では、来年2月21日(木)と22日(金)の2日間にわたり、パルスプラザ(京都府総合見本市会館)において「京都ビジネスパートナー交流会2008」を開催いたします。

現在、京都府内の中小企業のオリジナル製品、精密加工技術や独自技術を展示する出展企業を募集しております。新たなビジネスパートナーの発掘や、今後の企業戦略・事業展開等に役立てていただくため、数多くの方々のご参加をお願いしたいと考えておりますので、ぜひ、ご出展ください。

申込・詳細につきましては、ホームページ(<http://www.ki21.jp/bp2008/>)をご覧ください。

記

- 会期** 2008年2月21日(木)～22日(金) 午前10時～午後5時  
\*22日(金)は午後4時30分に終了いたします。
- 会場** パルスプラザ 京都府総合見本市会館 大展示場
- 出展料** Aタイプ 8万円/小間(税込) \*角小間希望 2万円(追加)  
システムパネル仕様 W3000mm×D3000mm×H2500mm 展示台1台・パイプイス2脚・蛍光灯1本  
Bタイプ 4万円/小間(税込) \*角小間希望 2万円(追加)  
システムパネル仕様 W2000mm×D2000mm×H2500mm 展示台1台・パイプイス2脚・蛍光灯1本
- 主催** 京都府 財団法人京都産業21



【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部  
市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211  
E-mail: market@ki21.jp



## 創業・新事業目指す法人・個人のみなさんを支援いたします

# 中信ベンチャーローン

《お使いみち》

- 研究開発資金、事業展開に必要な運転資金・設備資金
- 新事業開始にともなう起業家創業資金

### 中信ベンチャーローンにて対応可能な先

- 京都府知事より「中小企業創造活動促進法\*」の認定を受けた方
- 京都府知事より「中小企業新事業活動促進法」「中小企業経営革新支援法\*」の承認を受けた方
- 立命館大学より「研究契約書」の発行を受けた方
- 京都市ベンチャー企業目録委員会よりAランクの認定を受けた方
- 財団法人京都市中小企業支援センターが実施する企業価値創出支援制度において「オスカー認定」を受けた方
- 以下のインキュベーション施設に入居の方
  - ・「京都大学連携型起業家育成施設(通称:京大桂ベンチャープラザ)」
  - ・「立命館大学連携型起業家育成施設(通称:立命館大学BKCインキュベータ)」
  - ・「京都新事業創出型事業施設(通称:クリエイション・コア京都御車)」
  - ・「同志社大学連携型起業家育成施設(通称:D-egg)」
  - ・「京都桂新事業創出型事業施設」
  - ・京都府けいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム
  - ・龍谷大学エクステンションセンター・レンタルラボ
  - ・京都工芸繊維大学インキュベーションセンター
- 上記の他、当金庫が将来性・成長性ありと認める方

※現在「中小企業創造活動促進法」および「中小企業経営革新支援法」に基づく認定・承認は、法律改正により行われていません。ただし、法律改正施行日の平成17年4月13日以前に知事の認定・承認を受けている方は、平成22年4月12日までの間、本ローンの対象となります。

- |          |  |
|----------|--|
| 1. ご融資金額 | ・一企業1億円以内(無担保扱いは2千万円以内)  |
| 2. ご融資期間 | ・運転資金: 7年以内(元金据置2年以内可)<br>・設備資金: 10年以内(元金据置2年以内可)                |
| 3. ご融資利率 | ・変動金利: 新長期プライムレート即時連動型   |
| 4. ご返済方法 | ・元金均等返済または元利均等返済   |
| 5. 担保    | ・担保もしくは保証協会保証必要。ただし、無担保扱いも可                                      |
| 6. 保証人   | ・法人: 代表者1名(無担保扱いの場合社内保証人1名追加要)<br>・個人: 法定相続人(無担保扱いの場合別途事業従事者1名要) |

※お申し込みの際には、当金庫所定の審査をさせていただきます。  
審査結果によってはご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。  
※店頭「説明書」をご用意しています。金利情報・返済額の試算等詳しくは窓口またはフリーダイヤル(通話料無料)0120-201-959  
〔受付時間 9:00～17:00(当金庫の休業日は除きます)〕へお問い合わせください。

京都 中央信用金庫

# 京都産業21が設備投資を応援します!

企業の皆様が必要な設備を導入する場合に、希望の設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

詳しくは、設備導入支援グループまでお問い合わせください。

### 〈ご利用のススメ〉

- 信用保証協会の保証枠外、金融機関借入枠外で利用できるので、運転資金やその他の資金調達に余裕ができます!
- 割賦損料率・リース料率は固定なので、安心して長期事業計画が立てられます!

区 分	割賦販売	リース
対 象 企 業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5名以下)の企業ですが、 <b>最大50名以下の企業も利用可能です。</b>	
対 象 設 備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	新品に限ります。 リースの場合は、再販可能なものに限ります。(オーダー製品、構造物に付随するもの等は対象外)
対象設備の金額	事業実績が1年以上あれば100万円～6,000万円/年度まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内(償還期間)(ただし、法定耐用年数以内)	3～7年(法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年 <b>2.50%</b> (固定金利) (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年 <b>2.990%</b> 4年 <b>2.296%</b> 5年 <b>1.868%</b> 6年 <b>1.592%</b> 7年 <b>1.390%</b>
連 帯 保 証 人	原則、法人企業の場合は代表者1人、個人企業の場合は申込者本人を除き1人でお申し込みいただけます。 なお、審査委員会で、追加連帯保証人・担保を求められることがあります。	

※割賦損料率(金利)及び月額リース料率は、金利情勢に応じて見直しますので、詳しくは財団にお問い合わせください。

### ◆割賦販売とリース、どちらにしますか?

それぞれの特徴をご理解のうえ、皆様に合った方をお選びください。

	割 賦	リ ース
所有者	・完済まで財団に所有権があり、完済すると所有権が割賦企業に移転します。	・リース期間中及びリース期間終了後においても所有権は財団にあります。(リース期間満了後は、返還するか再リースをするかを選択していただけます。)
メリッ	・償還は6ヶ月据え置きです。 ・設備価格相当分は減価償却ができます。また、割賦損料部分は経費処理できます。 ・償還期間が法定耐用年数以内であれば最長7年と長期であるため、月々の償還負担が軽減できます。	・リース料は経費として全額処理できます。(そのため、節税効果があります) ・減価償却、固定資産税、損害保険料の支払いなどは財団が負担します。(管理事務も不要) ・契約時に自己資金が不要です。
留意事項等	・契約時に保証金として設備金額の10%を納付していただけます。 ・財団を受取人とした損害保険(火災保険)をかけていただけます。(保険料は企業負担) ・割賦設備の固定資産税を負担しなければなりません。 ・維持管理費は負担していただけます。	・維持管理費は負担していただけます。 ・リース期間中は、リース設備の更新及び中途解約はできません。 ・リース期間満了後、ご希望により、原契約の1か月分のリース料で1年間の再リース契約が可能です。再リースは何回でもできます。 ・リース設備は再販可能なものに限ります。

THE KYOTO SHINKIN BANK

地域とともに コミュニティバンク

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

# 連携支援

中小企業がいろいろ得意な分野を相互補完することで、大企業に負けない商品を生み出すのが「連携」です。

「こんな商品を作りたいけれど協力してくれる企業はない?」

「どこに販売したらいいの?」

「この商品のデザインを、若者に受けるデザインに変えたい。」

京都信用金庫の連携支援部は、このような新しい分野を切り開こうとする企業のために、協力できる中小企業や大学のパートナーを見つけます。

●現在、連携支援部では様々な分野で、連携・交流を進めています●

中小企業の「連携」に関するご相談をお待ちしています



京都信用金庫

連携支援部

京都市下京区四条通柳馬場東入  
TEL(075)211-2111

お客様の  
声

## NC旋盤加工に加え、 新たに複合旋盤加工にチャレンジ!



浜本製作所  
代表 浜本 康夫 氏

所在地 ● 京都市伏見区深草北蓮池町897  
TEL ● 075-646-3277  
FAX ● 075-646-3278  
業 種 ● 産業機械部品の切削加工

### ●設備導入のきっかけ

弊社は、家族経営で、旋盤加工を中心に、商社や機械メーカー等から産業機械の部品加工を一括して(旋盤～フライス～研磨加工等まで)受けています。旋盤加工以外は協力会社に外注もして、「超」短納期の仕事を積極的に受注しています。弊社と同様に、協力会社も個人や家族で経営しているのでお客様からのご注文に対してフレキシブルに対応できることから、取引業界も多岐に渡り、景気変動の影響を受けにくい体制がとれています。

しかし、ここにきて現在の社員数でこなせる仕事量・加工内容に限界が来ていました。そこで以前から進めていたNC化の一環として、ワンチャッキングで旋盤からフライス加工まで自動でできる「CNC複合旋盤(φ200)」を導入することにしました。これにより、生産効率も加工精度も上がると同時に、これまで自社内でできなかった加工もできるようになり、既存の仕事に加えて付加価値の高い新しい仕事を積極的に取っていただける体制になりました。

### ●設備導入の効果と今後の抱負

同機械を導入してまだ半年あまりですが、新規取引先も開拓でき、仕事もいただくようになりました。

新しい仕事を取るには、やはりお客様からの信頼が重要

で、「自社内にあるこの機械を使って加工して納める」というように具体的に示せることが大きな強みとなるのです。

今後は、「CNC複合旋盤(φ200)」のポテンシャルを最大限に生かして、新たな複合加工にも挑戦していきたいと思っています。

### ●貸与制度を利用した理由

新たなステージを迎えている当社にとって日頃から「情報収集」は欠かせません。日々の仕事に追われていると話をするのは同業の顔見知りだけで、とかく狭い世界にこもりがちです。もっと「外からの風」を入れたいと思っていたところ、京都産業21をよく利用している知人から設備貸与制度を紹介され、良い機会だと今回初めて利用させていただきました。

実際、財団の職員さんは日々企業訪問をされていることもあり、業界や他企業の動向等多くの情報をお持ちですし、毎月お届けいただく情報誌『クリエイティブ京都』等から最新の動向もうかがい知れ、貴重な情報源となっています。

これからも機会があれば、京都産業21の様々なサービスを利用していきたくと思っています。



▲新しく導入された「CNC複合旋盤」

【お申し込み・  
お問い合わせ先】

(財) 京都産業 21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-323-5211  
E-mail: setubi@ki21.jp



## 計る・包む・検査する

### トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社イシダ

■お問い合わせは

本社 / 京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL.(075)771-4141

<http://www.ishida.co.jp>

# 新素材・加工技術セミナーの紹介

京都府中小企業技術センターでは、新しい材料や加工技術の重要性に着目し、府内製造業の新技术の開発及び生産技術の向上を促進する目的で、平成13年度から新素材・加工技術セミナーを開催しています。セミナーでは各技術分野の第一線で活躍されている企業技術者、大学教授等を招き、最先端の材料・加工技術や研究を紹介いただいています。毎年メインテーマを設け、関連するテーマで年3回セミナーを開催しています。これまでに19回のセミナーを開催し、その参加者は延べ530名に達しています。当セミナーは、財団法人近畿地方発明センター及び財団法人応用科学研究所と共催しています。本年度も後述します内容であと2回開催しますので、興味のある方は是非とも参加してください。

## 本年度のセミナーの内容

本年度は「焼結部品・粉末冶金」に関する技術を取り上げます。本年度第1回のセミナーを7月27日に開催しました。日産自動車株式会社生産技術本部/パワートレイン技術開発試作部 主担 工法開発グループ新素材成形技術開発担当の藤木章氏を招き、「自動車用粉末冶金部材の基礎から応用まで」の演題で、講演いただきました。23名が参加し、熱心に聴講し、講演後は非常に多くの質問がなされたことから、焼結技術や粉末冶金技術に対する関心の高さがうかがわれました。

今回の講演内容の概要について紹介します。

金属の焼結はセラミックの焼結と異なり酸化しては困るものです。酸化すると強度が落ちます。

焼結部品の製造工程は「配合・混合」→「成形」→「焼結」→「サイジング」→「後処理」→「検査・出荷」になります。

「配合・混合」工程は種々の金属粉末を所定の割合で配合し、混合機により均一になるよう混合します。混合機にはコーン型とV型があります。

「成形」工程は混合された金属粉を精度の高い金型を用いて自動成型機により圧縮成形します。成形の基本はダイス、上パンチ、下パンチ、コアにより構成されています。

「焼結」工程は圧縮された成形体を焼結炉内で溶融点以下の温度のガス雰囲気中で焼結します。焼結工程をもう少し詳しく言うと「脱ろう部」と言われる鉄粉中に含まれる潤滑剤やバインダーを取り除く工程があり、ガスバーナーで約650℃に熱します。次に窒素ガス等の雰囲気中で予熱部を経て、電気ヒーターにより約1120～1150℃（普通焼結の場合）に加熱し、鉄粉粒子の拡散結合を起こさせます。

「サイジング」工程は焼結工程で熱変形した部品を再度金型に入れ、加圧して寸法矯正精度を出します。

自動車部品への焼結部品の適用部位はブリー、スプロケット、カムなどのエンジン用が重量比で約50%、マニュアル車やオートマチック車の駆動部が約25%を占めています。その他にシャーシ、電装品、フューエル、ボディに利用されています。

焼結は、鋳造、鍛造、プレスと比較して複雑な形状のものや複合一体化、寸法精度、静的強度、耐摩耗性の分野を得意としており、三次元曲面や空洞の形状のもの、動的強度は不得手な分野です。

さらに焼結部品の形状にはいろいろな制約があり、例えばアンダーカットや逆テーパの形状は抜き出しできませんし、肉厚が薄いものや鋭角な形状

のものは充填できません。また、細長いものは密度不足になります。

焼結に関する新技术・新材料は「温間成形技術」、「アルミ焼結合金」、「焼結接合技術」、「アンダーカット成形技術」、「多段成形技術」、「多層成形技術」、「焼結鍛造技術」、「焼結転造技術」があります。

「温間成形技術」は原料粉と金型を一定温度(130℃程度)に加熱して成形する方法で、従来の常温成形と比較してより高い密度の成形体を得ることが可能です。

「アルミ焼結鍛造合金」は配合組成及び製造工程の工夫によりダイキャスト製品と比較して、コスト的にも優れた上、優れた耐摩耗性と機械特性を有しており、汎用のエンジンに用いられるコネクティングロッドの小型、軽量化を可能にしました。

「焼結接合技術」は接合面における各元素の拡散により、高い接合強度の確保が可能で機械加工を省略することができ、複雑形状品のネットシェイプ及びコスト効果が拡大します。

「アンダーカット成形技術」は従来機械加工でしか対応できなかったアンダーカット形状を成形工程にて一発成形することで機械加工を廃止し、材料歩留まりを大幅に向上させることができます。

「多段成形技術」は各成形金型の動作をコンピュータ制御することで、各部の密度の均一化や薄肉、上下高段差形状品の成形を可能にしました。ネットシェイプ成形による低コスト化を図ることができます。

「多段成形技術」は異なる2種類以上の材料を用途に合わせて部分的に充填し、一体成形する技術で、1つの部品で異なる機能を持たせることが可能です。高価な材料など必要最小限の使用量でコストアップを抑えることができます。

「焼結鍛造技術」は粉末成形して仮焼結した後、鍛造することでほぼ真密度が得られ、高強度が得られます。温間成形技術より高強度で鍛造よりも材料歩留まりが良いです。

「焼結転造技術」は焼結後、転造することによって表面部のみ真密度近くまで密度が向上でき、高強度が得られます。温間成形技術より高密度で焼結鍛造よりの低コストです。



## 今年度予定しているセミナーの内容

今年度は下記の予定であと2回セミナーを開催します。詳細が決まり次第、当センターのホームページでお知らせします。

<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

第2回: 9月28日に、新しい粉末成形技術について九州大学大学院の長田隼子氏の講演を予定

第3回: 11月又は12月に、固化成型技術について大阪大学接合科学研究所の近藤勝義氏の講演を予定

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
基盤技術室 材料・機能評価担当

TEL: 075-315-8633 FAX: 075-315-9497  
E-mail: kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

# 小規模映像制作業者のためのハイビジョン化技術に関する研究Ⅱ

産学公連携推進室 産業デザイン担当 松井 洋泰、福岡 崇

## 1 はじめに

2011年を目処に、完全な放送のデジタル化が実施される中、今日様々な映像技術の変革が進んでいます。放送のデジタル化や一般家庭でのTV受像機のハイビジョン化に伴い、映像制作を手がけている比較的小規模(主に各種発表会、催事、プライダル映像等が制作の中心)の事業者においても今後、映像コンテンツのハイビジョン化やデジタル高品質化が、アナログ放送終了後の顧客ニーズと共に、早急に必要となってきます。コンピュータ技術や小型民生デジタル機器等を活用した技術について、2年目となる平成18年度は、具体的な制作過程等を踏まえて、少ない投資で実現できるハイビジョン化技術をテーマに研究を実施しました。

## 2 実験方法

研究を実施するにあたり、日常的に実施する制作過程を想定し、内容や使用する機器を決め、さらにケーブルテレビ局に協力をいただき、テスト制作という形で実証実験を行いました。具体的には次の3項目のとおりです。

- a. コンピュータ技術を活用した制作、編集システムの実用化に関する研究
- b. ハイビジョン映像の供給媒体と制作技術に関する研究
- c. ハイビジョン制作の簡易化と中継制作技術に関する研究と調査

## 3 実験結果及び考察

### a. コンピュータ技術を活用した制作、編集システムの実用化に関する研究

平成17年度の研究成果をもとに、一般的なカット編集に加え、マルチカメラ(4台同時)撮影の素材によるマルチクリップ編集を実施しました。事前にキャプチャ後の素材映像の同期を一致させ、それら複数の画面を同時再生しながら切替、選択という、中継収録時のスイッチング作業に近い編集手法(写真1)を用い、4~5台のカメラを同時使用した各トラック1時間程度の素材映像で、数回の作業工程を検証しました。結果、従来の複数トラックを並列使用した方法に比べ、3~4倍以上の作業時間の効率化が認められました。ただし、それらの作業をハイビジョン環境で実現するためには、同時に高いパフォーマンスのシステム(実質的には4CPU以上の、ハード、ソフトが最適化されたシステム)が必要であることも、システムの比較による検証の結果確認されました。



写真1 マルチクリップ方式によるHD映像の編集画面

### b. ハイビジョン映像の供給媒体と制作技術に関する研究

ハイビジョン映像の供給媒体としては、現在複数のメディアが実用化されていますが、HDV規格を活用した制作環境において映像コンテンツを、ハイビジョン映像のまま供給や配布するのに有効であると確認された、BDベースの制作技術に関する調査研究を行いました。結果、AVCHD等、HDV映像素材以外の規格に関しては、別途独自に長時間かけてエンコードする必要があったり、機能に制限があったりする等、変換の効率化を含めまだまだ検証する余地があります。また市販のパソコンを使用した簡易な低価格オーサリングツールも実用化が始まりつつあり、レコーダー以外の制作方法についても今後、別途検討する必要があることが確認されました。

### c. ハイビジョン制作の簡易化と中継制作技術に関する研究と調査

ケーブルテレビ局向けのテスト収録として、小規模なコンサート中継を実施した結果、スイッチング等関連する機器の小型化、低価格化という面で現状はSD映像時ほどのスリム化には至っていませんが、従来からある放送設備に比べ、かなりコンパクトになりつつあります。また、SDからHDへ移行の過渡期ということもあり、編集環境と同様、ようやく業務運用として実現できるレベルになったというのが、それらを実際に使用した感想です。またカメラをはじめ業務用機器と民生用機器の性能等、格差が非常に少なくなっており(用途限定な分、民生機のほうが商品化の即時性という点で機能が充実しているケースもある等)、システム構築は小規模な映像制作業にとっても試行錯誤が必要な時期に差し掛かっていると実感しました。

## 4 まとめ

ハイビジョン仕様のテレビやビデオカメラが普及しつつある今日、プロの映像制作業においては当然ハイビジョン化が必須要件となります。この研究を通して、当初の目的通り、簡易制作技術の確立及び映像制作自体のハイビジョン化は、微力ながら当センターにおいては、ほぼ完了したと考えています。ただしHD対応の供給メディア(ディスク)の作成方法は、当センターで設備等の不足もあり、今回の研究では業務レベルで実用化できるまでには至りませんでした。ハイビジョン化技術に関して、様々な場面で積極的に応用していくと同時に、この研究成果が映像制作の現場や人材育成の場において、少しでも参考となれば幸いです。



写真2 簡易ハイビジョン中継システム(V-440HD、他)

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
 産学公連携推進室 産業デザイン担当

TEL:075-315-8636 FAX:075-315-9497  
 E-mail: design@mtc.pref.kyoto.lg.jp

# 「北部産業技術支援センター・綾部」主要機器の紹介

今年6月に京都府と綾部市がグンゼ株式会社の協力を得て「北部産業技術支援センター・綾部」を開設し、京都府中小企業技術センターの中丹技術支援室がそこで中丹地域をはじめ京都府北部地域におけるものづくり産業等への技術支援や産学公連携による研究開発等の支援を行う新たな活動を開始しました。

その活動の1つとして、企業の課題解決のための機器貸付やデータ解析等の支援を行いますが、今回は中丹技術支援室に導入した主要機器のうち、機械金属関係の設備を紹介します。

材料物性を評価する試験機では、試料の振動に対する耐久性を調べる振動試験機や各種材料の硬さを調べる硬さ試験機、材料の欠陥を検査する超音波探傷機などがあります。また、加工物の表面状態を調べる各種顕微鏡をそろえています。加工機については、汎用旋盤、ボール盤、帯ノコ盤、切断機、溶接機があり、試作などに活用できます。詳しくは、中丹技術支援室(TEL: 0773-43-4340)までご連絡ください。

## □加工材料の物性試験



振動試験機



ロックウェル硬さ試験機(左)  
マイクロビッカース硬さ試験機(右)



超音波探傷器

## □工業材料の表面観察



レーザー顕微鏡



金属顕微鏡      実体顕微鏡



蛍光顕微鏡

## □試作品等作製のための加工



旋盤



タッピングボール盤



帯ノコ盤

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
中丹技術支援室

TEL:0773-43-4340 FAX:0773-43-4341  
E-mail: chutan@mtc.pref.kyoto.lg.jp

# 京都実装技術・信頼性研究会 活動のご紹介

研究会は、昭和62年に電子機器製造に携わる関係者が集まって設立し、幹事会によって運営されています。

## ◎活動の目的

- ①困っていることの解決 ②1人でヤルと時間のかかることを皆でヤル ③解らないことをなくす
- ④バックデータを共有し受託生産の裏付けを形成する ⑤ユーザへの提案力と折衝力を強化し、頼られる力を持つ

## ◎活動の内容

- 例会:原則毎月開催 ○見学会:年1回程度
- マイクロソルダリング資格認定評価講習会:JIC Z-3851(マイクロソルダリング技術検定における試験方法及び判定基準)に基づく講習会
- グループ研究:現在、次の5テーマ実施中
  - ①リペアによるはんだ接合部の劣化状況の解析 ②フラックスに適合した温度プロファイル作り
  - ③フラックス劣化具合の判定基準作り ④CAEで、はんだ継手と構造設計の高信頼化の設計解析
  - ⑤フロー装置の性能比較(標準基板を設計し製造性の定量、設計要因の影響を明らかにするなど)

## 【例会活動報告:平成19年度5月例会】

◇テーマ①:中国版RoHSって何でしょう

講師:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)  
環境部長 湊(たまたえ) 久徳 氏

テーマ②:REACHの準備は必要ですぞ!

ーその心構えについて、主に電機電子セット、部品メーカーの観点からー

講師:株式会社 村田製作所

市場渉外部 調査役 片岡 功 氏

テーマ②は生産・使用する「化学物質」について登録・届け出・評価・認可・制限のルールを設けるもので、欧州域外の企業といえどもサプライチェーンを通じて一定の義務が生じます。今年6月1日に施行されました。本テーマは、次ページの「技術トレンド情報」で紹介していますので、ご参照ください。

## 《中国版RoHSとは?》

今年、2007年3月1日、中国RoHSがスタートしました。欧州RoHS指令とは違う、2ステップ制のうちの第1ステップが始まりました。そもそも中国RoHSとは、また厳しい第2ステップとは何でしょうか。お話の一部を要約しました。関係出版社で「中国版RoHS規制に関する資料の和訳版」も販売されています。

### (1)中国RoHSの正式名称

:電子情報製品汚染制御管理弁法

### (2)管理弁法制定の目的

:電子情報製品の汚染予防で、欧州RoHSと同じ有害6物質の使用制限と禁止で、生産過程における廃ガス・廃液・固形廃棄物の廃棄(排出)等の汚染防止行為は対象外。有害6物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、臭素系難燃剤(PBB:ポリ臭化ビフェニル、PBDE:ポリ臭化ジフェニルエーテル))

### (3)主な義務(現時点でわかっていること)

◇第1ステップ...対象製品に標識の表示を義務付け

:次の4項目を表示すれば販売できる。

#### ①「環境保護使用期限」マーク



有毒有害物質の  
非含有マーク  
・色:緑



有毒有害物質の  
含有マーク  
・色:オレンジ  
・使用期限の表示  
(単位:年)

・他、マークの大きさ、表示場所、表示位置など規定あり。

・使用期限とは、人体や財産に損害を与えない期間。

②有害有害物質の「物質名」と「含有量○×表示」

(例:デスクトップコンピュータの一部)

部品名称	Pb	Hg	Cd	Cr(VI)	PBB	PBDE
プリント配線板	×	○	×	○	○	○
HDD、DVD等	×	○	×	×	○	○
筐体・シャーシ	○	○	○	×	○	○
付属品(ケーブル、マウス、リモコン)	×	○	×	○	○	○

○:有毒有害物質の含有量がSJ/T11363-2006標準規定値以下

×:部品中、少なくとも1種類の有害物質が既定値を上回る

③「生産年月日」→ ○年○月レベルで良

④包装材の「材料名」と「リサイクルの可否」

:包装リサイクル標識

◇第2ステップ...実施時期未定

概要:重点管理目録(有害物質禁止製品リスト)に記載された製品は、中国強制認証(3C認証:China Compulsory Certification)を受ける義務が生じ、適合しなければ販売できない。

(4)適用範囲及び対象製品

◇適用範囲:中国国内で製造・輸入され、販売される電気電子情報機器。

◇適用外:輸出目的で製造される電気電子情報機器、白物家電、軍用機器。

◇対象の電子情報製品10項目

- ①電子レーダー製品 ②電子通信製品 ③放送テレビ製品 ④コンピュータ製品 ⑤家庭電子製品 ⑥電子計器 ⑦電子線用製品 ⑧電子部品 ⑨電子応用製品 ⑩電子材料

(5)関係者の役割と責任

◇設計者(第9条):無毒、無害で分解し易い設計をする。

◇生産者(第10条):資源利用率が高く、回収処理のし易い、環境保護に役立つ材料や技術、プロセスを採用。

◇生産者と輸入者

(第11条):環境保護使用期限を自ら制定、製品に注記。

(第13条):製品中の有毒有害物質の情報表示を行い、含有量、含有部品及び回収利用の可否を記載。

(第14条):無毒無害、分解し易い梱包物製作、及び回収利用に便利な材料を使用し、梱包物上に材料を注記。

◇販売者(第15条):基準に満たない製品を販売してはならない。

京都実装技術・信頼性研究会ホームページ



<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/sem/imp>

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202

E-mail: keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

# REACH規制

## ～EU(欧州連合)における化学品規制のあらまし～

EU(欧州連合)の環境政策の原則は、予防行動、環境破壊の根源の優先的是正、汚染者負担です。この原則に基づき実施された環境規制の一つであるRoHS指令(電気電子機器中の有害物質規制)に続き、広範囲な化学物質規制であるREACH(Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals)規則が動き出しました。その概要は以下のとおりです。

### ▽(正式名)

「化学品の登録、評価、認可及び制限に関する欧州議会及び理事会規則」

### ▽(施行日)

2007年6月1日

### ▽(目的)

- ・化学物質(混合物、溶液、成型品に含有されるもの)のEU内での自由流通の確保を目的とする。
- ・製造者、輸入者、川下ユーザーの責務として化学物質による人の健康、環境へのリスクを回避する。

### ▽(対象者)

EU域内の製造者、輸入者(EU域内に拠点のある域外事業者の指定代理人)

### ▽(規制の特徴)

化学物質、成型品の製造者、輸入者は

- ① 化学物質の安全性評価情報の提供と登録の義務を負う。
- ② 含有する化学物質の登録を行う。(登録しないとEU域内では製造・販売・使用ができない。)

### ▽(規制の内容)

登録	<input type="checkbox"/> 年間1トン以上製造・輸入される化学物質(既存化学物質と新規化学物質)は登録が必要(10トン以上の物質については安全性評価が必要) <input type="checkbox"/> 登録先は欧州化学品庁(2008年6月までにヘルシンキに設置予定) [既存化学物質] 2008.6.1以降順次登録開始 [成型品 <sup>*1</sup> ](年間1トン以上の製造・輸入) ・化学物質が使用中に意図的に放出される場合→登録 ・高懸念物質 <sup>*2</sup> を0.1%超含む場合→届出・認可(生産輸入量に拘わらず、消費者への物質情報の提供義務あり) ※1「製造中に化学組成よりはるかに大きくその機能を決定する特定の形状、表面、デザインを与えられた物体」
評価	登録された情報の評価を行う
認可	※2「高懸念物質」 ・CMR:発癌性、変異原性、生殖毒性のある物質 ・PBT:難分解性、生体蓄積性、毒性物質 ・vPvB:極めて難分解性、生体蓄積性の高い物質 ・内分泌攪乱物質:原則使用禁止(個別に特定)
制限	登録の要否に拘わらず、許容し難いリスクをもつ物質の製造・販売・使用の制限ができる

※本内容は2007年3月1日、当センターで開催した「RoHS, REACH, EuP欧州環境規制の最近の動向を巡って」(講師:日本機械輸出組合 衣笠和郎氏)の内容を抜粋したものです。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
基盤技術室 化学・環境担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497  
E-mail: kankyo@mtc.pref.kyoto.lg.jp

# 府内主要業界の景気動向について (平成19年4月～6月)

～景気回復をリードしてきた電子・機械金属業の一部に中だるみ～

当センターでは、このほど平成19年4月～6月における府内主要業界景気動向の調査結果を取りまとめました。調査時点は6月末で、主要業界について業界団体及び複数の企業ヒアリング結果を要約したものです。

※詳細は、[http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/eco/07\\_04-06](http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/eco/07_04-06) に掲載しています。

概況	電子部品、機械金属業の一部にやや停滞感もあるが、全体としては概ね好調を維持しています。京都観光は好調で、観光関連需要の多い製造販売業や小売業に波及効果があります。繊維染色業は全体的に長期低落傾向で、とりわけ和装は大きく落ち込んでいます。伏見清酒や清水焼は、現状維持が精一杯の状況です。印刷や情報サービス業は、受注に停滞感が出ています。建設は住宅、民間設備投資に動きが出ています。全般に原材料価格の高騰が見られ、採算性の悪化が懸念されます。
飲食料品 漬物 清酒	漬物は堅調に推移しています。「京つけもの」ブランドの構築を目指しています。清酒はボリュームの多い普通酒が落ち込み、厳しさが続いています。本物志向の「純米酒」「吟醸酒」の普及に努め、京都ブランド化に取り組んでいます。
繊維染色 丹後織物 和装品 洋装品	丹後織物は、平均して3割程度の減産が続いています。産地の更なる縮小が懸念されます。和装品では、西陣帯地は前年比1割強の売上減ですが、金襴は売上が増加しています。室町問屋は仕入抑制姿勢が強く、小幅友禅加工は前年比3割の減産となっています。洋装品では、西陣のネクタイはクールビズの定着で2割近い減産となりましたが、秋物で巻き返しを狙っています。婦人服地は、低迷状況が続いています。
印刷	需要の伸びに一服感が出ています。原材料価格の上昇が続いています。
京焼・清水焼	イベント等で需要喚起を図っていますが、受注は減少傾向にあります。
電子部品	携帯電話、パソコン、デジタル家電、自動車、ゲーム機など電子部品需要が拡大しており、生産・出荷状況は好調です。
機械金属 銑鉄鋳物 一般機械・産業用機械 金 属 輸送用機械 精密機械	銑鉄鋳物は前年並みの受注量が確保されていますが、原材料価格の高騰により採算面では厳しい状況が続いています。 産業用機械のうち半導体製造関連装置やFPD製造装置は、一部に停滞感が出ていますが概ね堅調です。制御機器関係は、設備投資需要に支えられ好調を維持しています。電力設備関連も、民間需要、電力会社向け、中国向けともに好調です。 金型は、電子部品関連の受注に一服感が出ていますが、自動車向けも含めた金型業界全体として見ると概ね好調を持続しています。 繊維機械は、産業用繊維素材向けが好調で受注量は堅調に推移しています。 自動車関連は海外向けの自動車販売が伸びた効果で、生産量は前年同時期よりも若干上回っています。 精密機械は、分析装置関連、環境計測関連機器などの売上は増加傾向です。医療機器分野も売上が増加傾向で、好調です。
小売 百貨店 スーパー 商業施設・商店街	百貨店は全国的には前年割れしていますが、京都市では衣料品、宝飾品、外商が良くて7カ月連続で前年実績を上回っています。 府内スーパーの売上は、概ね横這いに推移しています。衣料品、身の回り品、飲食料品、家具で前年を上回っていますが、家電品、家庭用品等で前年を下回っています。 京都駅近辺の商業施設や河原町周辺の商店街では、京都観光やゴールデンウィーク中の人出が好調でした。
観光	京都市内主要ホテル客室稼働率は、4月、5月ともに90%を超える高水準です。 土産品は「京都ブーム」が続いており、好調であった昨年並みの売上が確保できました
情報サービス	商談・受注件数ともに前年並みに止まっており、前期と比較して業況に停滞感がでています。とくに府内、近畿圏内からの受注が減少しています。
建設	補正予算により公共工事が一時的に伸びましたが、今後は減少する見通しです。 民間建設工事は、住宅着工件数の回復、民間設備投資に支えられ増加しています。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
企画情報室

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-1551  
E-mail: kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

## 最近の経済指標 - 全国と京都府の動き - (平成19年4月～)

～景気は一時期の中だるみを脱したが、輸出と設備投資依存は変わらない～

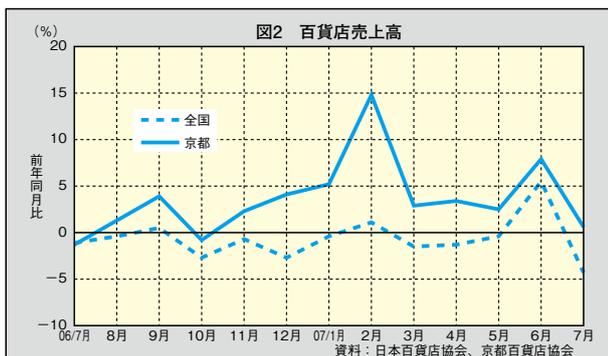
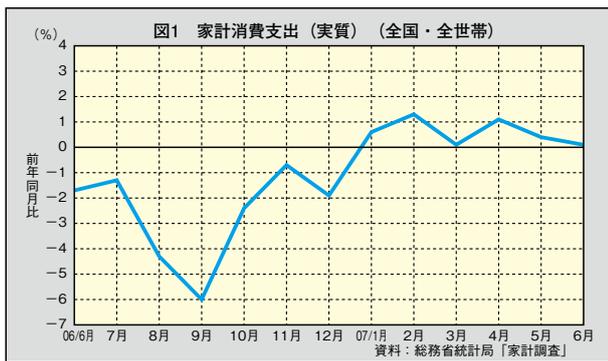
全国的には一時足踏みしていた設備投資と輸出に復調の兆し、鉱工業生産は拡大基調に戻りましたが、関西ならびに京都府では弱い指標が目につきます。消費は一部に明るさも見られるものの、景気を牽引する力強さは未だ見られません。雇用については徐々に回復しており、完全失業率も3.7%まで低下しましたが、京都では改善が足踏みを続けています。企業物価は穏やかな上昇を続けていますが、消費者物価の上昇は見られません。

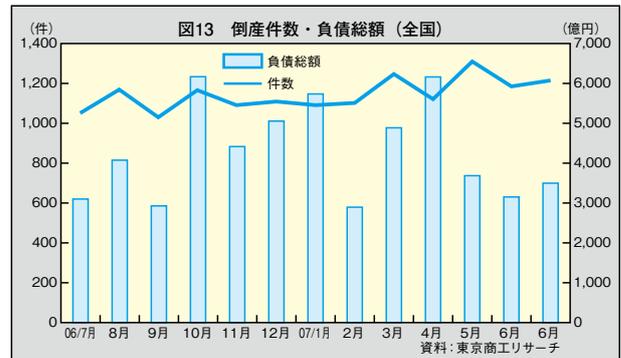
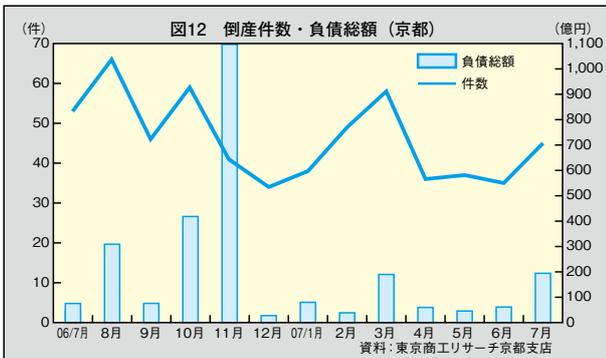
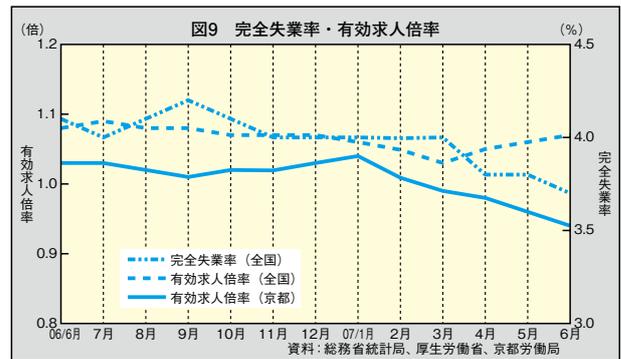
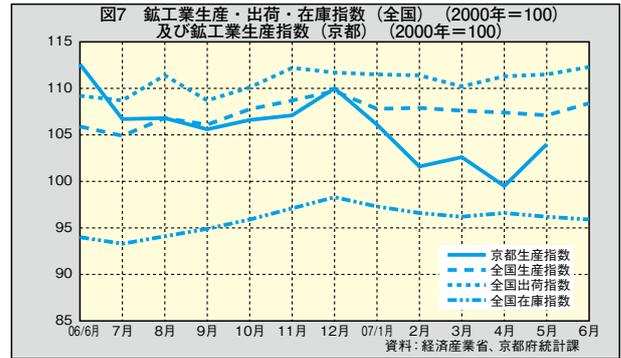
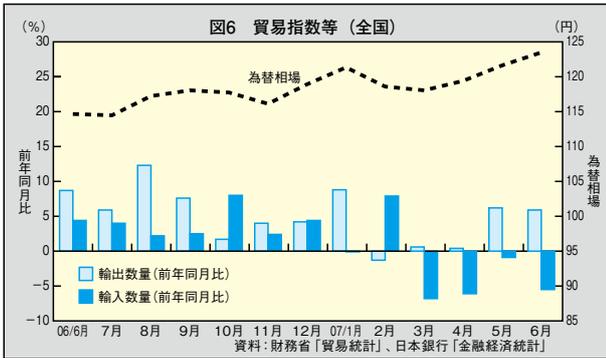
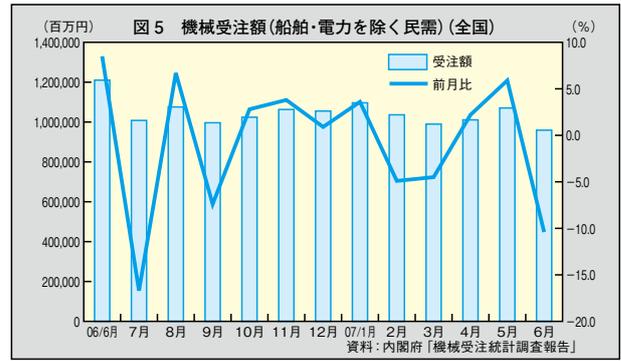
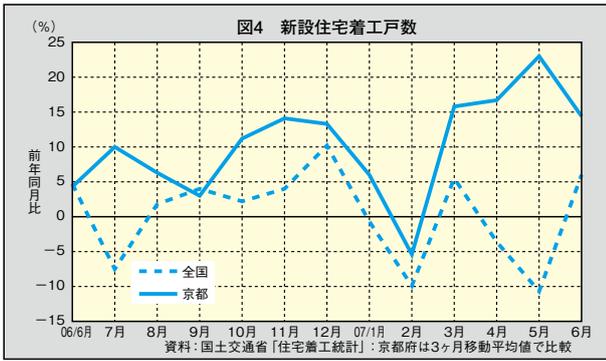
### <概況>

- 消費動向…家計消費支出(全国・全世帯・実質)は、本年1月から6か月連続でプラスに浮上していますが、名目では依然としてマイナスの月が多く力強さに欠けます。全国の百貨店売上高は6月は前年同月比5.5%増と浮上しましたが、7月は4.3%減となりました。全般的に前年比マイナスの月が多くなっています。しかし京都では、昨年の11月以降9か月連続で前年同月比プラスとなっています。乗用車新車販売台数は、燃料費高騰の影響もあって昨年から前年比マイナスの月が多くなっていますが、今年に入って落ち込み幅がさらに大きくなっています。新設住宅着工戸数は、全国的には月によりばらつきが見られますが、6月は前年同月比6.0%増、12万戸を超える高い水準です。京都では京都市内のマンション建設が好調で、概ね堅調に推移しています。総じて消費動向は力強さに欠けるものの回復傾向にあるといえますが、今後については6月から勤労者世帯の税負担がアップしたことによる影響が目立ちます。
- 設備投資…船舶・電力を除く民需の機械受注額(全国)については、3月時点での4～6月の見通しが11.8%の減少となっていました。実績は4月が前月比2.2%増、5月5.9%増と堅調に推移しましたが、6月は1兆円の大台を割り込み、10.4%の減少となりました。7～9月の見通しでは3.7%増となっています。
- 鉱工業生産…貿易指数の輸出数量は、2月は前年比マイナス、3月、4月が前年比コンマ数%の伸びに留まりましたが、5月、6月は5%以上

の伸張となっています。景気回復を主導してきた設備投資と輸出が、一時の停滞を脱し復調の気配が出ています。輸入は、原油等原材料価格の上昇と円安傾向から金額的には増加していますが、数量的にはマイナスの月が多くなっています。生産の海外依存が進んでいることも影響していると思われます。産業用大口電力消費量については、全国的に一昨年8月以降連続して前年同月を上回り、産業活動が活況であることを表しています。関西電力管内についても概ね前年同月比プラスですが、月により僅かにマイナスとなるなど全国と比較して産業活動の弱さが窺えます。全国の鉱工業生産指数は、3、4、5月と3か月連続して前月比マイナスとなりましたが、6月は前月比1.2%増となりました。出荷指数は4、5、6月と3か月連続で前月比プラスとなっています。在庫指数が低い水準となっていることから生産指数の伸びは続くものと思われます。京都府の生産指数は年初から落ち込み傾向でしたが、5月は前月比4.5%増と伸びました。しかし、全国と比較して全体的に低い水準に留まっています。

- 雇用動向…全国の有効求人倍率は、一昨年12月に1を超えて以降順調に伸びていましたが、今年になって1～3月は毎月、下落しました。しかし、4月以降3か月連続で上昇し、6月には1.07となりました。京都では3月に10か月ぶりに1を割り込んで以降、下落し続けており、6月には0.94となりました。昨年11月以降は5か月連続して4.0%に止まっていた全国の完全失業率は、4月から低下し、6月には3.7%まで低下しました。全国の雇用状況は、一時期足踏みがあったとは言え改善が続いていますが、京都の雇用改善は足踏みしています。
- 物価動向…企業物価は、平成16年3月以降、41か月連続で前年比プラスとなっています。生鮮食品を除く消費者物価は、コンマ1、2%のプラスで推移していましたが、本年2月以降6か月連続してマイナスになりました。京都市では昨年はマイナス基調でしたが、今年は2月から5か月連続でプラスとなっていました。しかし7月は0.1%下落となりました。
- 企業倒産…企業倒産は、全国的には今年に入ってやや増加基調となっています。京都も昨年夏から大型倒産が何件か発生してきて、件数も高水準な月が散見されます。





※ 経済指標の詳細データは、<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/pub/pre/cre/no026/7> に掲載しています。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
企画情報室

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-1551  
E-mail: kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問合せください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

市場開拓グループ TEL.075-315-8590

(本情報の有効期限は10月10日までとさせていただきます)

本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機-1	自動化・省力化機械部品	切削加工・板金加工(アルミ、鉄、ステン等)	京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット (1~100個)	話合い	近畿圏 希望	月末日メ 翌月末日支払、 10万円手形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機-2	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 10万円手形120日	運搬受注側、継続取引希望
機-3	精密機械部品	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、継続取引希望
機-4	精密小物部品(SuS)	切削加工	京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤	10~30個	話合い	不問	月末日メ 翌月25日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、材料支給有償、継続取引
機-5	精密機械部品(アルミ、SS、ステンレス)	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	近畿圏内	月末日メ 翌月末日支払、 振込	運搬受注側持ち、継続取引希望
織-1	ウェディングドレス	裁断~縫製~仕上	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	25日メ 翌月10日支払、 全額現金	運搬片持、内職加工先持ち 企業 特殊ミンシ(メロー がけ)可能企業を優遇
織-2	ウェディングドレス	裁断~縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬 発注側持ち

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	製缶~加工~組立~電機配線	各種産業用機械	久御山町 300万円 6名	半自動溶接機、アルゴン溶接機、汎用フライス、2.5tフォークリフト	話合い	隣接府県	1.5tトラックで運搬可能
機-2	MC・汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-3	精密金型設計製作、プレス加工(小物部品)中心に治工具、機械部品、板金加工等に力を入れています。	半導体関連装置部品・電機部品の精密機械加工・精密金型設計製作(アルミ、ステン、鉄、銅他)	久御山町 600万円 9名	縦型MC、フライス、成形平面研削盤、自動プレス(25~80t)、縦型スケールミル、タッピング、横型タッピングボール盤、投影機、CAD/CAM他	話合い	京都府内	経験30年、お客様のニーズを取り入れた金型の設計製作から金型の部品加工また機械加工においても全て内製で行い、お客様に提供しています。
機-4	小物MC加工(溶接対応可能)、アルミ・SUS・鉄他	産業用機械部品	京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機-5	切削加工・溶接加工一式(アルミ・鉄・ステン・真鍮)	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品	京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品~中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。
機-6	金属部品の精密切削加工(AL、SUS、SSなど)	工作機械部品、車輛部品、油圧部品、電機部品	京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各12台	中~大ロット	不問	高品質、高い技術、豊富な人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機・機械など金属部品加工をしています
機-7	旋盤加工、穴あけ加工	小物機械部品	京都市山科区 個人 1名	旋盤6尺、卓上ボール盤	話合い	不問	継続取引希望
機-8	パーツ・フィード設計・製作、省力機器設計・制作		宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	パーツ・フィード製造から組立て機械、電気配線まで自動機の手立てを低コストにて製作致します。
機-9	一般切削加工、ワイヤークット加工	弱電部品のプレス金型設計製作	亀岡市 個人 1名	ワイヤークット放電加工機、立フライス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	継続取引希望
機-10	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全自動溶接機(15台)、半自動溶接機(30台)、アプリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試作品)~大ロット(量産品)	不問	経験30年、国内及び海外に十数社の協力工場を含む生産拠点をもち、お客様のニーズに応えるべく、スピーディでより低コストかつ高品質な製品を提供します。
機-11	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品~小ロット	京都府内	経験32年、性能・ノイズ対策を考えた組立、短期間に対応、各種電子応用機器組立経験豊富

機-12	プリント基板実装		京都市山科区 個人 1名	ボール盤、自動半田付け装置、リードカッター、クリーンコータ(間欠噴霧式スプレーラック式)	話合い	不問	継続取引希望
機-13	金属製品塗装	紛体塗装 焼き付け塗装	宇治市 1000万円 3名	塗装ブース3500×3000×3600、乾燥炉2340×2500×1800、粉体塗装機、ホイスト、フォークリフト他	話合い	京都府南部地域・滋賀県	経験33年
機-14	研磨加工(手研磨)	精密機械部品	久御山町 300万円 1名	フラットラッピングマシン、半自動レンズ方式	話合い	不問	継続取引希望
機-15	機械設計(CAD 図面作成)		亀岡市 個人 3名	MicroCadam、SolidMx、オートCAD	1900円/時間 以上希望	近畿府県	
機-16	プレス加工・板金加工～アルマイト表面処理	アルミ材	八幡市 5000万円 30名	プレス機、深絞り用プレス、油圧プレス機、自動アルマイト処理設備一式(硫酸皮膜・硝酸皮膜対応)他	話合い	不問	全て自社工場内で行い、お客様にアルミ加工技術をご提供したいと考えております。
機-17	SUS・AL・SS板金・製缶、電子制御等一式組立製品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボイラー架台等、大物、小物、設計・製造	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、バンダー各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレーン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話合い	不問	2t車、4t車輛、継続取引希望、単発可
機-18	MC、汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステンレス)	半導体関連装置部品、包装機等、FA自動機	京都市南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフライス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品～量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-19	プレス加工(抜き、絞り、曲げ、穴あけ)	産業用機械部品等金属製品	京都市右京区 個人 30万円	トルクバックプレス35～80t、トランスファープレス、スクヤシャー、多軸タッピングマシン他	話合い	府内企業希望	継続取引希望
機-20	フライス加工	小物機械部品	綾部市 300万円 1名	汎用タテ型フライス(円弧、斜め対応型)	単品～小ロット	中丹地域希望	精度2/100ミリ程度まで。継続取引希望
機-21	切削加工、複合加工	産業用機械部品、重機部品	長岡京市 1000万円 10名	NC自動旋盤、カム式旋盤、フライス盤	中～大ロット	近畿府県	小径( $\pi$ 1～20ミリ)・小物( $\sim$ $\pi$ 600ミリ)、量産加工(500～50万個程度)
軽-1	射出成型、直圧成型	電機、車輛、医療、精密機械、住宅等各種プラスチック	久御山町 1000万円 6名	射出成型機(450t×1、300t×2、160t×2、75t×2、50t×1)、直圧成型機(100t×1、50t×2、37t×2、26t×1)	10～、 10,000～	不問	多品種、少量生産、各種組立、特別管理産業廃棄物収集運搬
織-1	仕上げ(縫製関係)、検査	婦人服全般	京都市北区 300万円 8名	仕上げ用プレス他	話合い	話合い	
織-2	各種フリル取りテープ加工	婦人服、子供服等	京都市中京区 1000万円 2名	各種特殊ミシン他	話合い	話合い	
織-3	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作		京都市山科区 1000万円 3名	六頭・四頭電子刺繍ミシン、パンチングマシン		タオルや小物など雑貨類の刺繍も承ります。多品種小ロットも可。	不問 運搬可能
織-4	裁断～縫製	婦人ブラウス、スカート	亀岡市 300万円 4名	本縫い、オーバーロック、インターロック、眠り、サージニング、カッター、上下送り、ほか各種ミシン	話合い	不問	
他-1	製品の広告、デザイン、販促、マーケティング等企画制作、ホームページ製作、インターネット戦略	パンフレット、カタログ、DM、会社案内、HP、広告企画、DVD、ビデオ	京都市中京区 1000万円 5名	コンピューター、レーザープリンタ、スキャナ、コピー他関連設備	話合い	不問	製品を顧客にうまくコミュニケーションするための広告デザイン&マーケティングをご提案します。相見積りで早く制作いたします。お気軽にお問い合わせください。
他-2	販促ツール(マンガ)の企画・製作	ビジネスコミック誌	亀岡市 個人 6名		話合い	不問	自社の研修、商品アピールにと用途は様々です。お気軽にお問い合わせください。

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。

Technology for Creative Kyoto

## 取引適正化無料法律相談のご案内

「代金が回収できない」「取引先が倒産した」「不良品の賠償問題」など取引先とトラブルが生じた場合、どう対処すればいいのか？法的にはどうなるのか？

京都産業21では、製造委託等取引に関する法律相談や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な法的問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料法律相談を下記のとおり行っております。お気軽にご相談ください。

- 相談日 毎月第2火曜日(13:30から16:00)
- 相談場所 京都産業21 会議室
- お申込み 相談は予約制となっております。事前に下記までご連絡ください。所定の申込書をお送りしますので、相談内容を記載の上、お申込みください。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211  
E-mail: market@ki21.jp

お問い合わせ先：●財団法人 京都産業 21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

日	名称	時間	場所
September 2007. 9.			
	●創援隊交流会 (京都会場)	14:00 ~ 17:00	新・都ホテル
11 (火)	●SE/システム高度化研究会 キックオフセミナー	16:00 ~ 18:00	平安会館
	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (thinkdesign)	13:30 ~ 16:00	京都府産業支援センター 1F
12 (水)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CoCreate OneSpace Modeling)	13:30 ~ 16:00	京都府産業支援センター 1F
	●プロモ倶楽部 <KIIC会員交流>	16:00 ~ 18:00	京都府産業支援センター 2F
13 (木)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (edgeCAM)	13:30 ~ 16:00	京都府産業支援センター 1F
14 (金)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (SolidWorks+ COSMOSWorks)	13:30 ~ 16:00	京都府産業支援センター 1F
	●マイクロ・ナノ融合加工技術研究会	13:30 ~ 17:00	京都府産業支援センター 5F
18 (火)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 第1回京都市内コース②	13:00 ~ 17:00	京都テルサ西館3F
20 (木)	●e-ビジネス研究会 <KIIC会員交流>	16:00 ~ 18:00	京都府産業支援センター 2F
	●Webショップ研究会 <KIIC会員交流>	18:00 ~ 20:00	京都府産業支援センター 2F
21 (金)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 京都府南部コース②	13:00 ~ 17:00	宇治市産業振興センター
25 (火)	●MFCA(マテリアルフローコスト会計)オープンセミナー	14:00 ~ 16:00	京都府産業支援センター 5F
27 (木)	●チラシ作成系講座 [デジタル撮影術講座]	10:00 ~ 17:00	京都府産業支援センター 2F

27 (木)	●京都北部地域産学公連携・交流フォーラム	19:00 ~ 21:30	京都工芸繊維大学京丹後キャンパス
28 (金)	●チラシ作成系講座 [画像加工講座]	10:00 ~ 17:00	京都府産業支援センター 2F
	●京都陶磁器釉薬研究会	15:00 ~ 16:30	京都府産業支援センター 5F
29 (土)	●起業家フォーラム 2007	13:30 ~ 16:00	京都リサーチパーク サイェンスホール

日	名称	時間	場所
October 2007. 10.			
1 (月)	●チラシ作成系講座 [パワーポイントを使ったチラシ作成講座]	10:00 ~ 17:00	京都府産業支援センター 2F
2 (火)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 第1回京都市内コース③	13:00 ~ 17:00	京都テルサ西館3F
5 (金)	●環境講演会	13:30 ~ 15:00	京都府産業支援センター 5F
	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 京都府南部コース③	13:00 ~ 17:00	宇治市産業振興センター
10 (水)	●食品・バイオ技術研究会	13:30 ~ 17:00	京都府産業支援センター 5F
11 (木)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 京都府北部コース①	13:00 ~ 17:00	京都府立丹後勤労者福祉会館
19 (金)	●マイクロ・ナノ融合加工技術研究会	13:30 ~ 17:00	京都府産業支援センター 5F
22 (月)	●京都陶磁器釉薬研究会	15:00 ~ 16:30	京都府産業支援センター 5F
25 (木)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 京都府北部コース②	13:00 ~ 17:00	京都府立丹後勤労者福祉会館
26 (金)	●創援隊交流会 (東京会場)	14:00 ~ 17:00	泉ガーデン7F ROOM1・2

### 専門家特別相談日

(毎週木曜日 13:00 ~ 16:00)

○事前申込およびご相談内容について、(財)京都産業 21 お客様相談室までご連絡ください。  
TEL 075-315-8600 FAX 075-315-9091

### 取引適正化無料法律相談日

(毎月第二火曜日 13:30 ~ 16:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業 21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。  
TEL 075-315-8590 FAX 075-323-5211

### 海外ビジネス特別相談日

(毎週木曜日 13:00 ~ 17:00)

○事前の申込およびご相談内容について、(財)京都産業 21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。  
TEL・FAX 075-325-2075

### インターネット相談実施中!

京都府中小企業技術センターでは、中小企業の皆様が抱えておられる技術上の課題をメール等でお答えしていますので、お気軽にご相談ください。

▶ <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/consul/consul.htm>

### メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご活用ください!

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業 21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆様の情報源として是非ご活用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ [http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get\\_mtnews.htm](http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/mtnews/get_mtnews.htm)

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

財団法人 京都産業 21 <http://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240  
 けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 1丁目7 (けいはんなプラザ ラボ棟)  
 TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202  
 北部支所 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波 139  
 TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/石田大成社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551  
 中丹技術支援室 〒623-0011 京都府綾部市青野町西馬場下 38-1  
 TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341  
 けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 1丁目7 (けいはんなプラザ ラボ棟)  
 TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202